

縄文時代の時期区分（土器編年）と海域環境・植生環境の変化（野内2012）

関連する遺跡と主な遺跡		時期	土器型式	14C年代	海域環境・植生環境の変化	
<p>(朽原岩陰遺跡)</p> <p>夏島第1貝層・平坂東貝塚</p> <p>取掛西貝塚・平坂西貝塚</p> <p>夏島第1混土貝層 夏島第2貝層 子母口貝塚 野島貝塚・飛ノ台貝塚</p> <p>夏島第3貝層・茅山貝塚 吉井貝塚</p> <p>高坂貝塚</p>		草創期	隆線文系 爪形文系 多縄文系	14C年代	市域出土遺物と海域環境・植生変化	
		前期	井草Ⅰ 井草Ⅱ・大丸	9600±170(1)	海進初期	古深田湾に干潟出現 (9160±150)(9) 温帯落葉広葉樹林 (9020±270)(10)
		前期	夏島 稲荷台 大浦山Ⅰ 大浦山Ⅱ 平坂 三戸			
		中期	田戸下層 田戸上層			
		後期	子母口 野島 鶺鴒ヶ島台	8160±140(2)	海進中期	温帯落葉広葉樹林 (8180±150)(11) 古久里浜湾の拡大 暖帯照葉樹林 (7130±160)(12)
		後期	茅山下層 茅山上層	7560±140(3) 7230±130(4)		
		末期	(上ノ山併行) (入海Ⅰ併行) (入海Ⅱ併行)			
		末期	打越 神之木台 下吉井			古深田湾、泥底に変化 (6600±140)(13) アカホヤ火山灰降灰
		前期	花積下層 関山Ⅰ 関山Ⅱ	6040±130(5)	海進最高期	古久里浜湾最大化 海域最大化
		前期	黒浜(古) 黒浜(新)			
		後期	諸磯a 諸磯b 諸磯c 十三菩提			古深田湾、砂底浅海化 (5480±120)(14)
		中期	五領ヶ台Ⅰ 五領ヶ台Ⅱ	5120±150(6)		周辺の離水と浅海化
		中期	勝坂 貉沢 新道 藤内 井戸尻			海域縮小
		後期	阿玉台Ⅰ 阿玉台Ⅱ 阿玉台Ⅲ 阿玉台Ⅳ			
		後期	加曾利EⅠ 加曾利EⅡ 加曾利EⅢ 加曾利EⅣ	3960±90(7)	海退期	古久里浜湾、湾奥干潟化・砂堆形成
後期	称名寺Ⅰ 称名寺Ⅱ 堀之内1 堀之内2			暖帯照葉樹林(3420±110)(15)		
後期	加曾利B1 加曾利B2 加曾利B3					
後期	曾谷 安行1 安行2	3080±95(8)	小海進	砂丘・砂堆の発達		
後期	安行3a 安行3b 安行3c 安行3d					
後期	千網 荒海			暖帯照葉樹林とスギの増加(豆子市うつき野遺跡)		

(1) マガキ：平坂東貝塚純貝層 (2) ウチムラサキガイ：野島貝塚 (3) ハマグリ：茅山貝塚 (4) マガキ：吉井第2貝塚下部貝層
 (5) チョウセンハマグリ：高坂B貝塚 (6) 炭化物：伝福寺裏遺跡 (7) アカニシ：吉井第2貝塚上部貝層 (8) アサリ：高坂A貝塚
 (9) カガミガイ：横須賀市役所(-24.0m) (10) オオヘビガイ：横須賀市役所(-25.0m) (11) カガミガイ：大滝町地下(-17.5m)
 (12) カガミガイ：久里浜入自然貝層(5.06m) (13) オオヘビガイ：大滝町(-9.0m) (14) カガミガイ：大滝町(-3.5m)
 (15) ピート：久里浜入自然貝層(9.27m)